

# 田池先生の手紙

嫁と姑の関係で悩んでおられる方へ

今日は、嫁と姑に悩んでおられる方を、心の中に描きまして、その方に、お手紙を書きました。お姑さんとお嫁さんの争いと同時に、夫と妻の不調和、あるいは親と子供の不調和、職場における上司と自分、あるいは、自分と同僚、自分と部下の不調和と同じ内容が含まれている訳です。

だから、嫁と姑の不調和と、夫婦の不調和とは基本的に異なる所はないのです。

今日も暗い顔をされていますね。また、姑さんの言われたこと、なされたこと、心の中で、どう思っておられるだろうと思うことで、心を縛ってしまったのではありませんか。心を暗くし、小さくしてしまうと、苦しくなり、悲しくなるばかりですよ。姑さんに腹をたてたり、自分の運命を呪ったりしても、ますます落ちこむだけでいっこうに事態の解決には、なりません。それよりも、姑さんの気持や考えになってみて、どうして姑さんが、そのようなことを言われるのか考えてみてください。また、どうして、姑さんが、そのようなことをなされるのか、心の中で、そのように思われるのかも考えてみてください。さらに、姑さんに対して、どうして、腹がたつのか、憎ん

だり、恨んだり、反発したりするのか、また、姑さんに受け入れられない自分を、嘆いたり、悲しんだりするのか反省してみてください。心を内に向け、しっかりと自分の心を見つけてください。そして、苦しみ、悩む原因を追究してみてください。蒔かぬ種は生えませんが、蒔いた種は刈りとらねばなりません。眼・耳・鼻・舌・身・意の五官六根の煩悩にふりまわされている弱い自分、自己保存・自己中心的な勝手気ままな自分・欲望と執着の虜になっている汚れた自分が、一切の苦悩の原因であることに気付いてほしいと思います。姑さんを、恐がってはなりません。明るい心で、姑さんを信じてください。そして、姑さんが、してほしいと思っておられることを、して差しあ

げたら喜ばれるだろうと思っておられることがあれば、心からして差しあげてください。思いやりの心と謙虚な気持を忘れず、己れには厳しく、相手には寛容（広い心）であるということが大切です。勇気と知恵を出して、努力してみてください。自分が、変れば、相手も、おのずから変わってくるものです。相手を、変えようと思ったり、したりしても、相手を変えることは、難しいことでしょう。自分の心を小さくしたのが、自分なら、自分の心を大きくするのも、丸く豊かにするのも自分であるということに気付いてください。



1985年8月15日 御巣鷹山に日航ジャンボ機が墜落